

展示会 「『赤い鳥』創刊100年—誌面を彩った作品と作家たち— 及び関連講演会開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、平成30年9月9日(日)から平成31年1月20日(日)まで、展示会「『赤い鳥』創刊100年—誌面を彩った作品と作家たち—」を開催します。

夏目漱石門下であった鈴木三重吉は、児童文学の芸術性の向上を目指し、大正7(1918)年に雑誌『赤い鳥』を創刊しました。

この展示会では、北原白秋、芥川龍之介、新美南吉など『赤い鳥』に関わった55人の作家・詩人とその作品を紹介いたします。

また、10月21日(日)には関連講演会「『赤い鳥』童謡と音楽」を開催します。

【お問合せ先】国立国会図書館 国際子ども図書館 企画協力課 03-3827-2041(直通)

児童文芸雑誌『赤い鳥』とは？

① 芸術的な児童文芸雑誌のさきがけ

明治期の子ども向けの出版物がお伽噺などの大衆的路線をとっていたのとは異なり、芸術的な児童文芸雑誌を標榜し、『赤い鳥』に影響を受けた児童雑誌が次々に誕生しました。

② 著名な作家・詩人による、現代でも読まれる数々の作品を掲載

北原白秋「からたちの花」、芥川龍之介「蜘蛛の糸」、新美南吉「ごん狐」、西条八十「かなりや」など、今でも親しまれる作品が多く掲載されました。

③ 投稿欄を通して、子どもたちに作文・詩・絵の指導を行い、子どもたちの自己表現の開拓に寄与

鈴木三重吉が綴方(作文)を、北原白秋が詩を、山本鼎が自由画を選評した投稿欄には、多くの子どもたちが作品を送りました。特に綴方は、学校での熱心な教師の指導もあり、多くの作品が投稿されました。

【展示会開催概要】 ※前期・後期で展示替えがあります。

日 時	(前期) 平成 30 年 9 月 9 日 (日) ~11 月 11 日 (日) (後期) 11 月 13 日 (火) ~平成 31 年 1 月 20 日 (日)
開 館 時 間	9 時 30 分~17 時
休 館 日	月曜日、国民の祝日・休日、年末年始、毎月第 3 水曜日(資料整理休館日)
場 所	国際子ども図書館レンガ棟 3 階 本のミュージアム
入 場 料	無料
そ の 他	会期中スタッフによるギャラリートークを予定しています。詳細は国際子ども図書館ホームページなどで順次お知らせします。
ホームページ	http://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2018-03.html

関連講演会「『赤い鳥』童謡と音楽」

『赤い鳥』の童謡は、誌面に文芸作品として掲載されただけでなく、曲がつけられ、当時普及し始めたレコードを通して広まり、音楽会なども開催されました。講演会では、こうした『赤い鳥』の音楽に関わる面について、大東文化大学の ^{しゅうとうよしき} 周東 美材 氏にお話しいただきます。

【開催概要】

講 師	^{しゅうとうよしき} 周東 美材 氏 (大東文化大学社会学部専任講師)
日 時	10 月 21 日 (日) 14 時~16 時
場 所	国際子ども図書館アーチ棟 1 階 研修室 1
対 象	中学生以上 (定員 100 名。定員を超えた場合は抽選)
参 加 費	無料
申 込 方 法	インターネット上のフォームまたは往復はがきで受付。 詳細はプレスリリース 4 ページを御覧ください。

【講師略歴】 周東美材 (しゅうとうよしき)

学校法人大東文化学園大東文化大学社会学部専任講師。

昭和 55 年、群馬県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了、博士 (社会情報学)。学習院大学非常勤講師、首都大学東京非常勤講師、東京大学大学院情報学環特任助教、日本体育大学准教授等を経て現職。『童謡の近代 : メディアの変容と子ども文化』(岩波書店)を始め、童謡や音楽文化等に関する書籍及び論文を多数執筆。

【展示資料一例】

※以下の画像データは、本展示会の広報の目的であれば御提供できます。

雑誌『赤い鳥』

※表紙を展示する巻号と中のページを展示する巻号があります。

※画像は複製版ですが、展示会場では他の巻号の原本も御覧いただけます。



会場での展示の他に、児童書ギャラリーでは、一部の欠号を除いて、『赤い鳥』を実際に手に取って御覧いただけます。

赤い鳥で活躍した作家の作品



- ① 『赤い鳥』複製版 1巻1号 日本近代文学館 1968
- ② 『赤い鳥』複製版 復刊12巻3号 日本近代文学館 1968
- ③ 『赤い鳥』複製版 2巻5号 日本近代文学館 1968
- ④ 『赤い鳥』複製版 14巻1号 日本近代文学館 1968
- ⑤ 『星の女』 鈴木三重吉 編 清水良雄 装画 春陽堂 1917 (世界童話集; 第3編)
- ⑥ 『からたちの花がさいたよ: 北原白秋童謡選』 北原白秋[作] 与田準一 編 初山滋 装画 2015 岩波書店 (岩波少年文庫; 224)
- ⑦ 『蜘蛛の糸』 芥川龍之介 著 篠崎三朗 カバー絵 さし絵 ポプラ社 2005 (ポプラポケット文庫; 371-1)
- ⑧ 『ごんぎつね』 新美南吉 作 柿本幸造 絵 前田景 装丁 講談社 2013 (講談社の名作絵本)
- ⑨ 『月夜と眼鏡』 小川未明 作; ナツコ・ムーン 装画 諸藤剛司 装丁 「小川未明12冊の本展」 Galerie Malle 2015



【関連講演会の申込方法】

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

●インターネット 10月1日(月) 締切

台東区ホームページ (<http://www.city.taito.lg.jp/>) 内の次のページにアクセスし、専用のフォームからお申し込みください。

☆上野の山文化ゾーンフェスティバル[講演会シリーズ]

http://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/torikumi/uenonoyama/koenkai.html

*詳細については、国際子ども図書館ホームページも御参照ください。

<http://www.kodomo.go.jp/event/event/event2018-10.html>

●往復はがき 10月1日(月) 必着

「往信用裏面」：以下の必要事項を御記入ください。

- ① 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)
- ② 参加人数
(1枚のはがきで2名まで。2名の場合はそれぞれの氏名を必ず明記してください。)
- ③ 電話番号
- ④ 「講演番号 8」 「『赤い鳥』童謡と音楽」

「返信用表面」：郵便番号・住所・氏名を御記入ください。

宛先：〒110-8615 東京都台東区東上野 4-5-6

台東区役所文化振興課「上野の山文化ゾーンフェスティバル」係

※この講演会は、台東区と上野の山の文化施設などで組織される上野の山文化ゾーン連絡協議会主催の「上野の山文化ゾーンフェスティバル」の一環として開催します。